



いつも北ガスグループをご利用いただきありがとうございます。本年も大変お世話になりました。2015年より、北海道ガスでは「総合エネルギーサービス事業」に向けた、省エネ実証を開始いたしました。この「省エネ実証通信」では、各号テーマに沿って、その取り組みについてご紹介させていただきます。

テーマ1 これまでの実証経過について

当社は、環境省の実証事業として採択を受け、北ガス版HEMSのシステム開発・実証を行っております。開始より約1年が経過した現状についてご報告させていただきます。

現在、100軒のモニターさまにご協力いただき、温湿度やエネルギーなどのデータ測定を行っております。これまでの測定で得られたデータをもとに、

①無線通信によるデータの取得状況確認（無線通信の実態確認）

北ガス版HEMSは新築・既築への導入を目指しています。既築住宅は躯体内へのケーブル等埋設が困難であるため、無線通信でのデータ取得を検討しています。

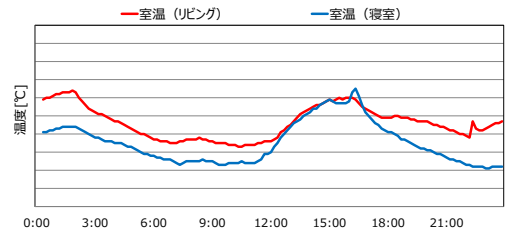
②データの精度確認

設置する機器をできるだけ小さく・少なくするため、日立製作所様と共同で「住環境マルチセンサ」を開発いたしました。取得したデータを見ながらその精度を確認しているところです。



③取得データの分析と、お客さま戸別の省エネポイント抽出可否の確認

例えば右図のような、お客さま戸別のデータを分析しながら、省エネできる隙がどこにあるのかを探しています。



④暖房自動制御へのデータ活用方法を検討

等を進めてまいりました。これらの項目は、今後も継続して検証していきます。②～④につきましては、「どんな機器で何を測っているのか?」「省エネポイントとは?」「暖房自動制御とは?」といった点を、北ガス版HEMSの特徴と併せて、今後の省エネ実証通信の中で詳しくお伝えいたします!

今後は、2017年度にかけて、3年間の実証における省エネ/省CO2の効果を見極め、商用化に向けた最終評価をしていく予定です。

モニターのみなさまにご提供いただいている住環境データは、北海道の住環境やエネルギーの使い方の把握、そして北ガス版HEMSの開発にとって大変貴重な資料となります。機器の調整・立会のお願いやアンケート等でご迷惑をおかけいたしておりますが、今後ともご協力いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします!



次回は・・・改めまして「実証の背景と目的」についてお届けいたします!